

<p>種名</p>	<p style="text-align: center;">マ ガ モ</p> <p style="text-align: center;"><u>Anas platyrnynchos</u></p> 												
<p>分類</p>	<p>ガンカモ目ガンカモ科</p>												
<p>特徴</p>	<p>オスでは緑色の頭と黄色いくちばしが目立つ淡水ガモ類。北半球の温帯から亜寒帯で広く繁殖する種で、日本には主に冬鳥として多数が渡来し、各地で越冬する。本州の山地や北海道では繁殖するものもある。家畜としてよく飼育されるアヒルの原種である。アヒルはしばしば野生状態で生活しており、そうした個体は繁殖するものもある。野生のマガモと区別できない。狩猟鳥。</p>												
<p>生活</p>	<p>越冬地では湖、沼、大きな川、内湾の海上など開けた水面に群れていることが多く、時には数百羽の群れをなす。狩猟鳥となっているため、昼間は安全な水面で休んでいることが多く。夜間に湿地、水田、湖沼の岸などで餌をとる。繁殖期には、本州では山地、北海道では平地から山地の湖や沼で生活し、草むらの中に枯れ草で皿形の巣を作る。産卵期は4～7月、卵数は6～12個、抱卵日数は28～29日位である。</p>												
<p>声</p>	<p>カモ類の中では、もっとも良く鳴く鳥である。オスは「グァークワックワツ」と尻下がりの大声で鳴くほか「クワックワツ」と小声で鳴いている。メスも「クワックワツ」という低い声である。水面から飛び立つ時には「グェーグェー」と鳴くことが多い。</p>												
<p>見分け方</p>	<p>オスは色彩で見誤ることはない。メスはくちばしの周辺が橙色で尾は白っぽい。</p>												
<p>時期：繁殖地 ：越冬地</p>	<p>(月)</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>4</p>	<p>5</p>	<p>6</p>	<p>7</p>	<p>8</p>	<p>9</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>
<p>その他</p>	<p>全長(L)</p>	<p>61cm</p>	<p>53cm</p>	<p>翼開長(W)</p>	<p>85</p>	<p>~</p>	<p>99cm</p>						
<p style="text-align: right;">参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥</p>													